



主催：科学研究費国際共同研究加速基金（国際共同研究強化B）

代表：大橋毅彦「1930-40年代の北京・上海及び周辺都市における日本語出版物と文芸文化ネットワーク」

共催：立教大学文学部文学科日本文学専修

大会プログラム

3/1(土)

13:00~13:30 趣旨説明 石川巧 登壇者自己紹介 司会：秦剛

13:30~17:30 個別研究発表

石川巧 草野心平の自伝的小説「琥珀の天」を読む
多田蔵人 長篇叙事詩の時代——北川冬彦の詩作を中心に
曲莉 北川冬彦の『阿Q正伝』改編
陳童君 島田政雄を問いかける——新しい占領期日中文学関係史のために

3/2(日)

10:00~12:00 自由発表 司会：石川巧

牛路遥 上海東亜同文書院図書館報『崑崙』をめぐる
木田隆文 『浙江文化研究』再探——戦時杭州の日本語文化空間
王羽萌 戦時下天津における日本語文芸活動——『京津日日新聞』の文芸欄「月曜文芸」を出発点に

13:00~16:00 シンポジウム 改造社メディアの中国言説を読み直す 司会：木田隆文

中村みどり 『改造』『現代支那号』が語るもの——中国をめぐる新旧の言説
呂慧君 改造社における魯迅——『文芸』を中心として
秦剛 改造社雑誌『大陸』の創刊と変貌
劉妍 女性画家長谷川春子の大陸表象

16:15~17:15 特集全体討議 司会：木田隆文

17:20~18:00 総括報告

大橋毅彦 二つの変圧器から生じる新たな交流回路
——版画家田川憲ならびに翻訳家室伏クララ研究についての1948年——

国際シンポジウム

1930-40年代

中日文芸文化の交渉と波動

2025 3/1(土)・2(日)

10時00分~17時00分

立教大学池袋キャンパス5号館 5121教室

[開催形式] 対面およびzoomウェビナーのハイブリット形式

zoom ミーティング ID : 863 4045 1409 パスコード : 952409

対象：来場歓迎

担当者：石川 巧(文学部文学科日本文学専修教授)

お問い合わせ先：石川 巧 E-mail: takumi@rikkyo.ac.jp



登壇者プロフィール

石川巧 | ISHIKAWA TAKUMI

立教大学教授。専門は日本近代文学、出版文化。主な著書に『群衆論』(琥珀書房、2024)、『読む戯曲の読み方』(慶應義塾大学出版会、2022)、『幻の戦時下文学』(青土社、2019)、『幻の雑誌が語る戦争』(青土社、2018)など。

多田蔵人 | TADA KURAHITO

国文学研究資料館准教授。専門は日本近代文学。著書『永井荷風』(東京大学出版会、2017)、編著『荷風追想』(岩波書店、2020)、校訂・注解書『断腸亭日乗』(岩波書店、2024～続刊中)など。

曲莉 | QU LI

北京外国語大学日本語学部講師。専門は日本近代文学。最近の論文に「国木田独歩的華茲華斯接受的路向考述」(『日本学研究』35号、2023年10月)、「徳富蘇峰《新日本の詩人》的内在旨趣和隐性理路——比较文学视角下的考察」(『日語学習与研究』222号、2022年10月)、「芥川龍之介「湖南の扇」論」(『国語と国文学』98(1)、2021年1月)など。

陳童君 | CHEN TONGJUN

南京理工大学教授。専門は日本近現代文学。主な著書に『堀田善衛の敗戦後文学論』(鼎書房、2017)、『在華日僑文人史料研究』(上海人民出版社、2020)など。

牛路遙 | NIU LUYAO

華東師範大学講師。専門は日本近代文学、中日比較文学。主な論文に「〈枠組み〉の崩壊—井上ひさしコントの世界」(『大衆文化』第26号、2022年9月)、「喜劇への眼差し—井上ひさし「ロマンス論」」(『立教大学日本文学』第129号、2023年1月)など。

木田隆文 | KIDA TAKAFUMI

奈良大学教授。専門は日本近代文学、特に戦時中国を中心とした外地文学。主な著書に『日本未来派、そして戦後詩』の胎動』(琥珀書房、2024)、『上海文学 復刻版』(琥珀書房、2022)、『上海の戦後』(勉誠出版、2019)など。

王羽萌 | WANG YUMENG

立教大学文学研究科日本文学専攻博士後期課程後期課程在籍。専門は日本近現代文学。主な業績に論文「区分をくかきまざる—開高健「兵士の報酬」論」(『立教大学日本文学』131号、2024)、論文「「序」であり続ける「学習」—富士正晴「帝国軍隊に於ける学習・序」論」(『立教大学日本文学』129号、2023)、論文「「あたらない」ねらい方—田中小実昌「魚撃ち」論」(『立教大学日本文学』124号、2020)など。

中村みどり | NAKAMURA MIDORI

早稲田大学教授。専門は中国近代文学、留学生史。近年の研究論文として、「同時代小説としての中国文学と創作における日本語」(『翻訳としての文学 流通・受容・領有』水声社、2024)、「内山完造と第三回大東亜文学者大会」(『内山完造研究の新展開』東方書店、2024)など。

呂慧君 | LU HUIJUN

上海外国語大学准教授。専門は日本近代文学、中日比較文学。主な著書に『戦時上海グレーゾーン—溶融する「抵抗」と「協力」』(共著、勉誠出版、2017)、『戦間期東アジアの日本語文学』(共著、勉誠出版、2013)など。

秦剛 | QIN GANG

北京外国語大学日本学研究センター教授。専門は日本近代文学。主な著書に『捕風者宮崎駿』(三聯書店、2015)、『戦争と日本アニメ』(青弓社、2022、共著)、『新世紀の文学研究』(ひつじ書房、2023、共著)、『労働と身体の大衆文化』(水声社、2023、共著)、『堀田善衛研究論集』(桂書房、2024、共著)など。

劉妍 | LIU YAN

中国人民大学外講師。専門は日本近現代文学。著書『横光利一研究—從〈上海〉到〈旅愁〉』(吉林大学出版社、2014)、論文「絶望に逆行する文学と思想—中国における大江健三郎文学概観」(『日本学報』、2023)、「雑誌『改造』と中国の関連性について」(『神戸松蔭女子学院大学研究紀要文学部篇』2017)など。

大橋毅彦 | OHASHI TAKEHIKO

関西学院大学名誉教授。専門は日本近代文学。主な著書に『神戸文芸文化の航路』(2024、琥珀書房)、『D・L・ブロッホをめぐる旅』(2021、春陽堂書店)、『昭和文学の上海体験』(2017、勉誠出版)など。